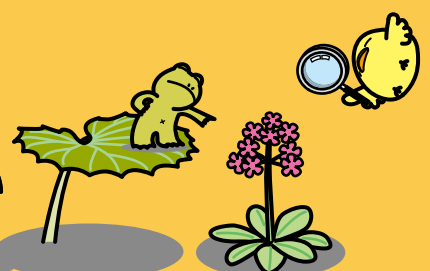
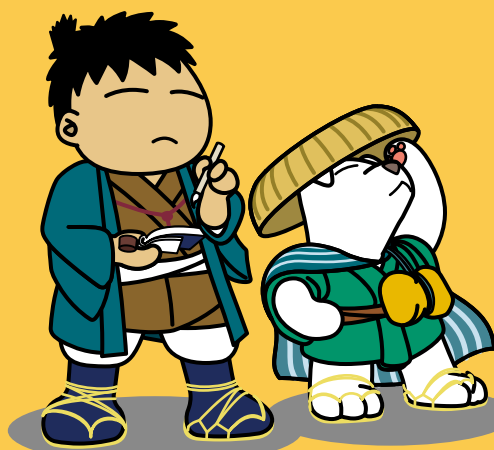
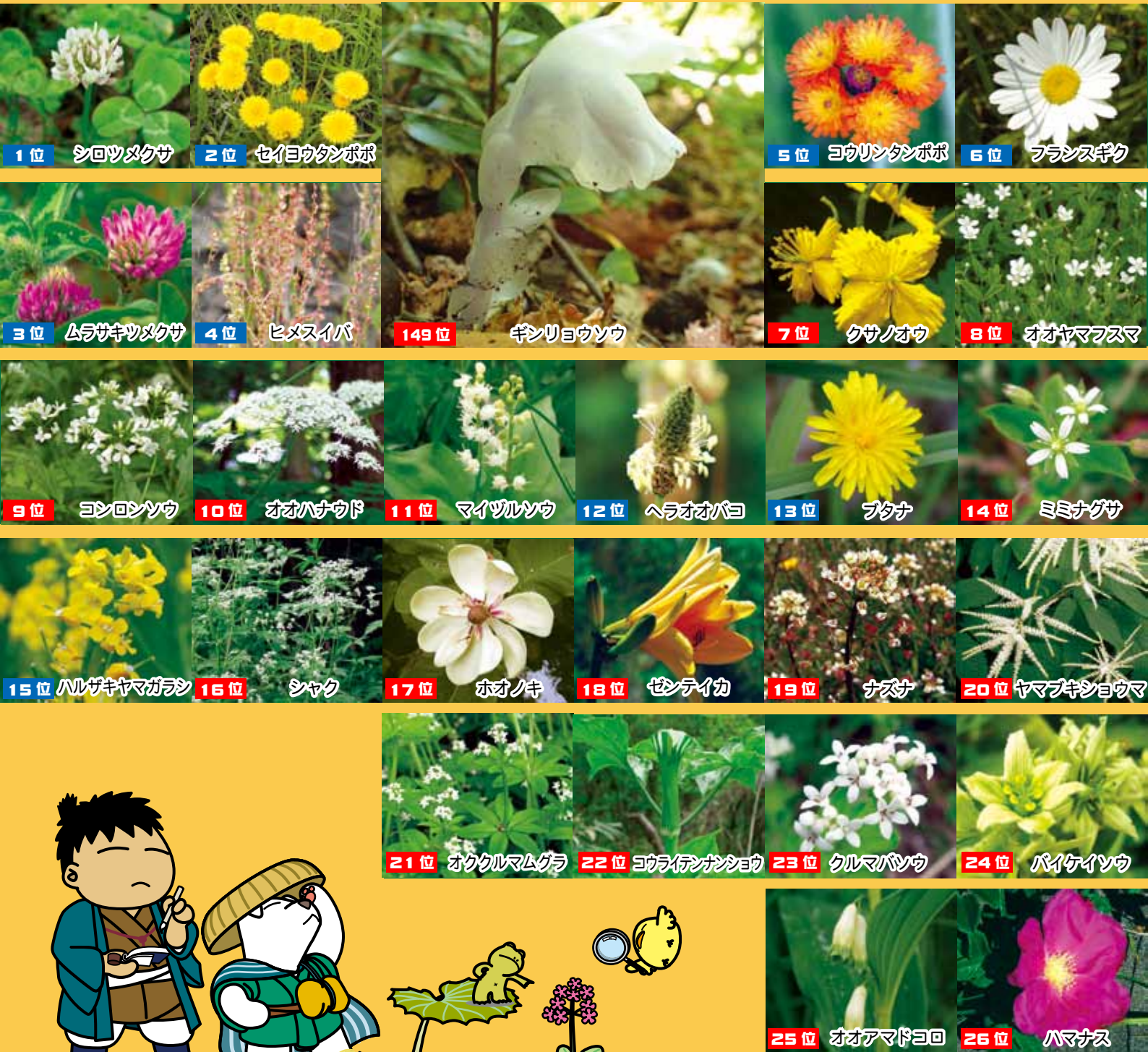




# 北海道フラワーソン 2022

## 調査の手引



※これまでのフラワーソンで確認された主な花たち（順位は 2017 年の開花地区数）

主催／北海道新聞社 公益財団法人北海道新聞野生生物基金

後援／北海道文化放送 AIR-G' エフエム北海道 北海道新聞 HotMedia 北海道新聞グループ各社

## はじめに ～フラワーソンに参加いただくにあたって～

北海道フラワーソンは、5年に1回開催している事業で、今回は6回目になります。全道を約950の地区に分け、どんな花が咲いているかをグループ単位で調べていただきます。調査の対象となるのは、開花している野生植物（帰化植物含む）すべてで、毎回6月中旬に実施しています。

フラワーソンは、植物・自然に関心のある方ならどなたでも参加することができ、決して難しい調査ではありません。しかし、野外に咲いている花にはたくさんの種類がありますし、専用の調査用紙にはじめはとまどわれるかもしれません。この手引では、調査にあたって必要なことをまとめて紹介しています。分からないことがあったら、まずはこの手引を確認してみてください。



## 調査の方法 ～現地調査の方法と調査用紙の書き方～

### ■調査を始めるまで

#### ○事務局から調査用紙をもらう

この手引と一緒に（または後から別途）、調査用紙と地図をお渡ししています。まずは自分の調査する場所のものかどうか、よく確認してください。調査用紙も地区ごとの専用となっています。

#### ○ホームページの確認

調査結果の報告は、ホームページ（<https://flowerthon.net/>）からの送信をおすすめしています。また各地区の地図も確認できますので、調査前に一度ホームページを確認しておいてください。

#### ○不明な点は問い合わせを

不明な点があれば、事前に事務局（問合せ先は末尾に）に問い合わせで解決しておいてください。

### ■調査の手順

#### ○調査の実施日

調査日は今回は**6月18日**と**19日**の2日間となっています。どちらだけに実施しても、それぞれ別の場所で2回実施しても構いません。また、その後の**平日5日間（20日から24日）**も予備期間として結果を募集しますので、土日に調査できなかったグループはこの期間に調査してください。結果は合わせて整理しますが、調査した日は用紙に記録してください。

#### ○地図の見方と記入方法

調査単位である「**地区**」は、2万5千分の1の地形図と同じものです。配布した地図に書かれている**地区名**と**地区番号**で報告します。1つの地区は10キロ四方ありますので、全域を見ることはとてもできません。地区の中で各自決めた場所を歩いて、そこで見られる植物を報告してください。調査したルートと始点・終点は地図に書き込んでおいてください。ルートが地区をまたがるときは、地区ごとに記録をするようにしてください。



■配布する地図の例 フラワースオン用のオリジナルのマップです（協力：ESRI ジャパン・酪農学園大学）。

### ○歩きながら花を探す

花を探して歩き、見つけたら名前を記録していきましょう。花の名前が分からないときには、図鑑で調べてみましょう。幸い、北海道には一般向けのハンディな図鑑で良いものがありますので、野外で持ち歩いても良いでしょう。

- ★①『**新北海道の花**』梅沢俊・北大出版会。ハンディタイプですが、1900もの植物が収録され、ほとんどの花を調べられます！
- ★②『**北海道初夏の花 絵とき検索表**』梅沢俊・村野道子・エコ・ネットワーク 第1回フラワースオンのためにつくられた本！

花の名前がどうしても分からない人、自信がない人で、写真をきちんと撮っている人は、地域のアドバイザーに相談するか、事務局まで送ってください。なるべく同定してお知らせするようにします。メールに添付、フェイスブックページに投稿、ツイッターに「#北海道フラワースオン2022」を付けて投稿、といった形で写真を送ってください。その際、あった場所や環境もお知らせください。



### ○見つけた花を調査用紙に記録

地区ごとに調査用紙に結果を記入します。もちろん、野外では別のノートに書いておいて、家で整理して用紙に記入していただいても構いませんし、種数が多いときはパソコンの表計算ソフトなどで整理しても良いです。

また、同じ地区の中で複数のコースを歩いたときは、別々に報告してもらっても構いませんし、どちらか一つの地区の情報として合わせたものを報告してもらっても良いです。調査は**2種類**あり、それぞれに専用の用紙があります。用紙の書き方は、次のページで確認してください。



一般開花調査

調査用紙には、前回までにその地区で確認されている花の名前がアイウエオ順で書いてあります。花を見つけたら、花の状態別に「咲いている」は○、すぐに咲きそうな「つぼみ」は△、「咲き終わり（しおれている、実になっている）」は×マークを記入します。もし、用紙にない花があれば、備考欄（予備欄）に花の名前とマークを記入します。前回は調査されていない地区や、予定していなかった地区を調査するときは、種名の載っていない用紙を使ってください（あらかじめ何部かお渡しします）。

記入時には、以下の点にご注意下さい。

\* 「咲いている」と「つぼみ」が同時にあるなど、いろいろな状態があるときは、「咲いている」で記録してください。「つぼみ」と「咲き終わり」はあくまで補足の記録となります。

\* 対象は野生の植物だけで、人が植えた園芸種などは含めません。

\* 花のないシダ類や、花が分かりにくいイネ科・カヤツリグサ科・ホシクサ科などの植物は基本的に対象外です。記録しないで構いません（報告があれば、データとしては残します）。

\* 植物には複数の名前を持つものがありますので、リストにないときも、別の名前でリストに載っていないかどうか確かめてください。

例) コウライテンナンショウ⇒マムシグサ      タンポポモドキ⇒ブタナ  
 マツヨイセンノウ⇒ヒロハノマンテマ      ニセアカシア⇒ハリエンジュ など

\* 前回までの報告が間違っている可能性もあります。特に種名に\*がついているものは間違いを含んでいる可能性が高いので、図鑑でよく確かめてください。

例) 開花季節ではない花      エゾトリカブト\*

例) 分布が限られているため、多くの地域では見られない花      カトウハコベ\*

例) 調査対象ではないイネ科などの花      クマイザサ\*、ワタスゲ\*

例) 同定が難しいグループの花、別の意味で使われている可能性がある名前      スミレ\*、スイバ\*

登録された番号を書いてください      具体的な地名などを書いてください

用紙の書き方

石狩 北海道フラワーズン2022 花の記録用紙（一般調査） 644144

■グループ番号( ) ■グループ名( ) ■調査日(6/ )

■調査地点( ) ■調査環境(複数可)( 森林 草原 砂浜 河原 岩場 湿地 高山 荒地 人里 )

確認 [ ] 種 ※花が咲いているものは○、つぼみのものは△、咲き終わったものは×をつけて下さい  
\*がついている花は、間違いやすい種類や、この時期にあまり咲いていないため注意が必要な種類です。

■地区：野幌 644144

1959	アオダモ	モクセイ科		2205	エゾノヨツバムグラ	アカネ科	
819	アオチドリ	ラン科		2033	エゾムラサキ	ムラサキ科	
2226	アカネムグラ	アカネ科		1541	エゾヤマハギ*	マメ科	
1777	アカバナ*	アカバナ科		1621	エゾユズリハ	トウダイグサ科	
1746	アギスミレ	スミレ科		2510	エニシダ*	マメ科	
954	アサダ*	カンナ科		1483	エビガライチゴ	バラ科	
1497	アズキナシ	バラ科		779	エンレイソウ*	ユリ科	
964	アズマナルコ*	カヤツリグサ科		758	オオアマドコロ	ユリ科	
1810	アマノハナ	ユリ科		712	オオウバユリ	ユリ科	

結果の整理時に使いますので、調査した環境に○を付けてください。

ここに書かれている地区専用の用紙です。

ここに○△×を記入します。

前回確認された花をアイウエオ順で書いてあります（イネ科・カヤツリグサ科、季節が外れている花などは除いていることがあります。）。

植物のコードです。記入には関係ありません。



## 特定種調査

事務局で選定した花があるかどうかを調べる、お子さんでも参加できる調査です。写真付きのカラーの専用調査用紙に地区ごとの結果を記録してください。選定した花は、「ハマナス」「スズラン」「コウリントンポポ」「オオバナノエンレイソウ」「カタクリ」「ホオノキ」「マイヅルソウ」「クリンソウ」「サイハイラン」「エゾカンゾウ」の合計10種です。これらについて、花の有無にかかわらず「ある」「なし」の確認をして、あれば「○」、なければ「×」をつけ、さらにあるものについては花の状況「咲いている」○、「つぼみ」△、「咲き終わり」×を用紙に記入します。用紙についている写真と説明、この手引の見分け方（裏表紙）などを参考にして調べましょう。

\*カタクリやオオバナノエンレイソウは、普通は6月には咲いていませんので、葉や実などを手掛かりに「あるかないか」を調べましょう。用紙には実の写真も載せています。

\*それぞれの花は、生育環境がおおよそ決まっていますので（ハマナスは海岸、サイハイランは森林など）、その環境に合わせて探しましょう。裏表紙で生育環境と分布図を紹介しているので参考にしてください。

### 用紙の書き方

地区の番号を書いてください      地区名を書いてください      具体的な地名などを書いてください

■グループ番号 [      ]    ■グループ名 [      ]    ■調査日 [ 6 /      ]

■地区番号 [      ]    ■地区名 [      ]    ■調査地点名 [      ]

次の花があるか、しらべてみましょう!! 花は咲いているかな?

**01.ハマナス**

前回確認39% 開花34%  
海岸の砂丘にさく赤い花。内陸では、植えたものを見かける。花には時期がやや早めかも。

あつた?    花は?

前回の結果と、簡単な説明。詳しくは、この手引の裏表紙や、図鑑などを見てください。

咲いているなら○、つぼみなら△、咲き終わりなら×を記入します。

花の写真      その植物があれば○、なければ×を記入します。

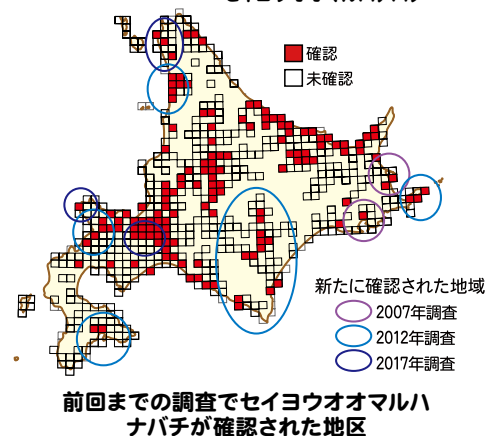
## ■花に来る昆虫の調査について

今回のフラワーズンでは、前回に引き続き、**花を訪れる昆虫たち**の調査を実施します。特定種調査の一環として、2007年から調査している**セイヨウオオマルハナバチ**という外来生物について調べるほか、在来の**マルハナバチ類4タイプ**と**チョウ5種類**についても記録します（特定種用紙の裏）。これらの虫たちは花の大切なパートナーです。写真や見分け方を参考に、この機会に記録に挑戦してみてください。

**セイヨウオオマルハナバチ**は、トマトなどの受粉用として輸入されましたが、野外に逃げて増えてしまい、在来種や生態系に悪影響を与えることが心配されています。すでに全道で増加しつつあり、2007年は12%、2012年は14%、2017年は16%の地区から報告がありました。今回はさらに分布が広がっていることが懸念されます。



セイヨウオオマルハナバチ



⇒ 詳しくは次のページや、調査シートの見分け方を見てください!

【マルハナバチについて】

マルハナバチは、花粉を運ぶ虫の中でも、もっとも優秀です。そのため、オオアマドコロやオドリコソウのように、マルハナバチと深い絆で結ばれている植物もあります。



このハチは大変おとなしく、手で捕まえたりしない限り刺されることはありません。花に来るさまざまな虫もじっくり観察して、花との出会いをいっそう深く楽しいものにしてください。

【マルハナバチの仲間と似た虫の見分け方について】



マルハナバチの仲間はどれもよく似ているが、体のもようが大きく異なる。セイヨウハチは、お尻が白く、胸と腹に明るいレモン色の帯があるのが特徴である。

■在来の主なマルハナバチ



■マルハナバチに似た花にくる虫たち

ハチの仲間では、小型で細いハナバチやスズメバチなども花に来る。アブやハエの仲間も花に来るが、ハチと異なり、ハネが2枚で顔が平たい。



■調査結果の報告方法

調査当日か数日後までに、調査用紙に結果をまとめて報告してください（一週間以内に到着するようにお願いします）。結果報告は、郵送かファクス、ホームページ送信のいずれかをお願いします。ホームページには専用の結果入力コーナーがあるので、ホームページを使える人はできるだけこちらを使ってください。参加グループごとにページが用意されていて、登録してある地区の結果を入力することができます。郵送の際には、ルートを書いた地図も一緒に送ってください。

カメラを持っている人は、調査風景や花の写真を撮影して送ってください（ファイル名に種名と場所、グループ番号を付けて、メール添付またはデータを郵送）。花や虫のイラストも歓迎です。

◇提出物の一覧

	注意事項	インターネットを使う場合	ファクスを使う場合	郵送する場合
● 調査用紙・特定種調査	グループ番号・グループ名・地区番号・地区名・調査日の記入を忘れずに	ホームページから送信またはメールで	直接ファクス	コピーして郵送
● 調査用紙・一般調査				
ルートを書いた地図	特に書いていない人は送らなくても構いません	-	直接ファクス	コピーして郵送
写真（デジカメ）	調査風景や分からなかった植物・興味深い植物・見事な群落などについて適宜	メールに添付して送ってください	-	CD-R、メモリーカード等で
写真（スチールカメラ）		-	-	プリントして送ってください
アンケート	参加した感想をなるべく参加者それぞれ書いてください	ホームページから送信またはメールで	直接ファクス	直接郵送

※●をつけたものは、必ず送る必要があるものです。特定種調査のみの参加の場合は、そのシートをホームページやファクスで送っていただければよいです。

※写真は、プリントの場合は、裏に花の名前・撮影場所・撮影者・グループ名（番号）を書いてください。データのときは、ファイル名またはメール本文などに上記の項目を明示してください。

## ■ 調査結果のまとめ

調査結果は事務局で集計・分析し、開花マップなどを作成します。また、前回からの分布の変化やその要因などもまとめます。これらは、北海道新聞紙上やホームページなどで公表されます。

実施数カ月後に、調査・分析結果、参加グループの調査の様様、エピソードなどをまとめた小冊子を編集発行します。参加者全員（家族グループは1冊）にプレゼントします。



2012年と2017年の報告書

## 野外活動における注意事項

活動時はけがなどに十分注意してください。特に山岳地を調査される方は、天候にも気を付けて、無理のないようにしてください。

### ○調査地区の立ち入りについて

- ◆危険地区（河川、海岸、湿地、山岳地帯、がけ地など）は十分に注意して行動しましょう。散策路・登山道から外れないようにして調査してください。
- ◆私有地と思われる場所で調査するときは、所有者の方に断りを入れましょう。国有林については、事務局で承認を得る予定です。
- ◆ヒグマの出没情報がある場所には立ち入らないようにしましょう。
- ◆日が長い季節ですが、日没時間に注意して、遅くまで行動しないようにしてください。

### ○植物を採集しない、踏みつけない

- ◆調査の際は、基本的に植物を採集しないようにしてください。また、踏み荒らさないよう注意しながら観察してください。


### ○ごみの持ち帰り、アイドリングについて

- ◆野外で発生したごみは全て持ち帰るようにしてください。また駐車場や路肩に車を止めるときにはまめにエンジンを切るようにしてください。自然にも人にも不快感を与えないようにしましょう！

### ○調査にかかる費用について

- ◆調査にともなう移動の交通費や写真代・郵送代などは、各グループで負担してください。
- ◆事務局から郵送・配布する調査用紙や冊子などの費用は事務局が負担します。

### ○調査結果の公開について

- ◆結果は紙上やホームページ上で公開し、学術研究等に活用します。調査データの著作権は北海道新聞野生生物基金が有しますが、研究等に活用されるようにします（CC BY 4.0）。
- ◆盗掘の恐れなどから公開されたくない花などは、各グループの判断で報告をひかえてください。
- ◆結果はデータベースとして管理しますが、「報告者」はグループ名で記録されます。個人名を残したくない方は、必ずグループ名をつけてください。

## フラワーソン・トピックス ～花の調査のために注意したいこと～

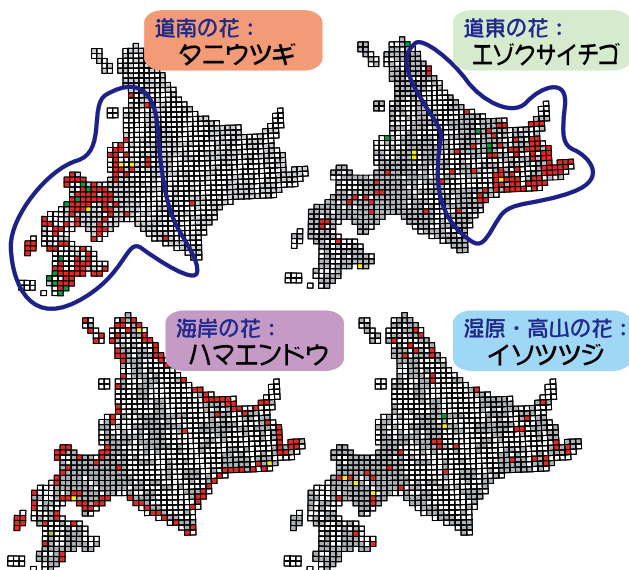
ここでは、フラワーソンに参加するにあたって、特に注意したいことをまとめておきました。

### ○「生育している」と「咲いている」を間違えないように！！

この調査は「花の調査」なので、咲いていない植物は記録しません。このため、調査結果は季節の進みの影響を受けますが、広く記録を集めやすい調査としています。ただし、特定種については、「あった？」の欄に生育していたかどうかを記録してください。

### ○植物ごとの分布傾向や生育環境に注意！！

植物によって、生育している地域に偏りがあったり、特定の環境にしか生育しなかったりします。たとえば、道南にしかない植物が道東に出てくることはまずありませんので、花の名前を調べるときの手掛かりにしてください。各植物の生育分布や環境は、図鑑類や前回のレポート等を参考にしてください。

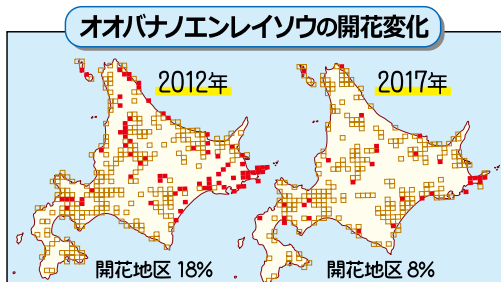


分布や環境に特徴がある種の例。エゾクサイチゴの西部の地区は似た種の誤認と思われる。

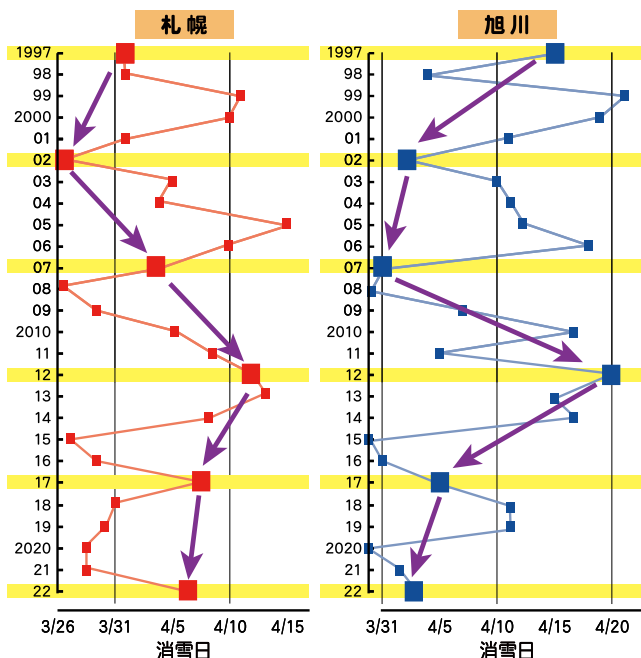
### ○季節の進み方で咲く花は変わる！！

咲いている花の種類は、季節の進み方でも大きく変わります。特に2002年と2007年は季節の進みが早かったために、春の花は咲き終わってしまい、夏の花が咲き始めていました。

今年は冬に雪が非常に多く積もりましたが、2月下旬以降は暖かい日が続き、雪どけは早く進みました。比較的季節の進みは早いようですが、当日はどうでしょうか。



春に咲くオオバナノエンレイソウは、季節の進みが早かった2017年には開花場所が根室周辺や高標高地に限られている。



いつ雪がなくなるかは、植物の季節の進みに大きく影響する。雪どけが早いほど花が早く咲いていくが、2012年は雪どけが遅かったが、その後は暖かい日が続き、進みが早くなった。

年によい  
遅いがあひづね  
あるケロ





## よく見られる花の一覧 ～これまでの上位 100 種～

表には、前回開花が確認された地区数が多かった上位 100 種の花を紹介しています。調査でまず見つけやすいのはこれらの花ですので、探してみてください。

順位	和名	開花地区	つぼみ	咲終り	確認地区	開花 2017	開花 2012	開花 2007	開花 2002
1	シロツメクサ*	467	5	1	473	87%	77%	87%	86%
2	セイヨウタンポポ*	440	1	34	475	82%	80%	76%	73%
3	ムラサキツメクサ*	399	9	1	409	75%	66%	75%	73%
4	ヒメスイバ*	342	7	2	351	64%	64%	64%	63%
5	コウリンタンポポ*	319	20	6	348	60%	46%	50%	44%
6	フランスギク*	315	27		342	59%	47%	51%	44%
7	クサノオウ	286	2	3	291	54%	52%	49%	46%
8	オオヤマフスマ	285	1	5	291	53%	51%	51%	46%
9	コンロンソウ	261	4	46	311	49%	63%	52%	52%
10	オオハナウド	256	20	1	277	48%	46%	50%	48%
11	マイヅルソウ	253	8	104	377	47%	65%	63%	42%
12	ヘラオオバコ*	250	10	3	263	47%	50%	51%	44%
13	ブタナ*	245	10		255	46%	45%	48%	49%
14	ミミナグサ	242	4	6	252	45%	36%	41%	34%
15	ハルザキヤマガラシ*	241	1	21	263	45%	51%	39%	40%
16	シャク	239	6	22	267	45%	43%	43%	34%
17	ホオノキ 樹木	235	24	36	321	44%	43%	53%	40%
18	ゼンテイカ(エゾカンソウ)	228	14	4	250	43%	42%	48%	46%
19	ナズナ	211	2	12	225	40%	39%	35%	36%
20	ヤマブキショウマ	206	57	3	266	39%	26%	36%	37%
21	オククルマムグラ	204	11	11	226	38%	38%	38%	29%
22	コウライテンナンショウ	197	5	8	210	37%	42%	42%	31%
23	クルマバソウ	196	5	34	235	37%	45%	47%	37%
24	バイケイソウ	195	10	4	209	37%	8%	42%	43%
25	オオアマドコロ	185	4	72	261	35%	48%	47%	40%
26	ハマナス 樹木	184	15	4	206	34%	31%	33%	35%
27	ハコベ*	179	4	4	187	34%	31%	31%	24%
28	ツボスミレ	169	1	32	202	32%	39%	29%	23%
29	ミツバツチグリ	163	1	4	168	31%	32%	27%	23%
30	ヒメジョオン*	161	80	1	242	30%	29%	31%	28%
31	ヒレハリソウ*	160	8		168	30%	29%	24%	25%
32	タチイヌノフグリ*	159	2	4	165	30%	21%	18%	14%
33	オオダイコンソウ	156	15	4	175	29%	30%	36%	37%
34	ツルアジサイ 樹木	147	43	2	192	28%	21%	32%	38%
35	ウシハコベ	144	3	2	149	27%	25%	27%	24%
36	カタバミ	143	5		148	27%	25%	28%	19%
37	サイハイラン	140	10	6	159	26%	25%	28%	26%
37	オドリコソウ	140	2	16	158	26%	33%	31%	22%
39	ヒメヘビイチゴ	138	1		139	26%	25%	22%	20%
40	センダイハギ	137	1	2	140	26%	25%	28%	24%
40	ノハラムラサキ*	137		1	138	26%	20%	11%	5%
42	エゾノギギシ*	136	69	4	209	25%	28%	29%	20%
42	セイウノコギリソウ*	136	34		170	25%	14%	18%	15%
44	エゾスカシユリ	135	5		140	25%	22%	22%	22%
45	ツルウメモドキ 樹木	133	38	1	172	25%	16%	18%	15%
46	ミズキ 樹木	131	2	19	152	25%	21%	27%	21%
47	チシマアザミ	130	74	1	205	24%	19%	26%	29%
48	カラフトホソバハコベ*	128	3	1	132	24%	16%	15%	12%
49	ズダヤクシュ	127	1	11	139	24%	24%	25%	19%
50	ノビネチドリ	124	2	22	148	23%	32%	29%	23%
50	ハイキンボウゲ*	124	2		126	23%	20%	21%	16%

順位	和名	開花地区	つぼみ	咲終り	確認地区	開花 2017	開花 2012	開花 2007	開花 2002
52	ハリエンジュ(ヒセアカシア)* 樹木	123	6	2	131	23%	23%	26%	18%
53	コケイラン	119		6	125	22%	27%	26%	22%
54	ハマエンドウ	117	3	2	122	22%	23%	23%	26%
55	タニギキョウ	115	1	3	119	22%	19%	18%	17%
56	ルピナス(ノボリフジ)*	114	1		115	21%	14%	7%	0%
57	ワスレナグサ*	112		1	113	21%	21%	15%	
58	ハナニガナ	111	10	2	123	21%	16%	28%	23%
59	コシカギク*	109	11		120	20%	14%	12%	12%
60	フタリシズカ	108	8	9	125	20%	18%	24%	18%
61	エゾイラクサ	106	57	1	164	20%	13%	10%	12%
62	エゾクサイチゴ	105	1		106	20%	15%	17%	18%
63	キジムシロ	102	3	8	113	19%	23%	25%	24%
64	オオバタネツケバナ	101	2	10	113	19%	21%	17%	17%
64	ノボロギク*	101	4	1	106	19%	18%	16%	11%
66	スズラン	100	2	32	141	19%	27%	23%	16%
67	タニウツギ 樹木	99	4	10	113	19%	24%	25%	21%
67	キバナコウリンタンポポ*	99	5		104	19%	14%	8%	5%
69	エゾタチカタバミ	97	5	1	103	18%	20%	25%	18%
70	クルマバツクパネソウ	96	4	15	115	18%	21%	24%	18%
71	オオカサモチ	93	17	2	112	17%	11%	22%	26%
72	アヤメ	91	2		93	17%	12%	11%	11%
72	クリンソウ	91		1	92	17%	16%	15%	8%
74	オオバナノミミナグサ	89		2	91	17%	15%	12%	17%
75	ナナカマド 樹木	88	10	70	168	16%	11%	21%	12%
75	カンボク 樹木	88	5		93	16%	18%	20%	17%
77	カキドオシ	87	3	9	99	16%	24%	15%	13%
77	ハクサンチドリ	87	1	6	94	16%	22%	25%	21%
77	エゾノレイジンソウ	87	5	2	94	16%	15%	17%	13%
80	ユキザサ	85	2	72	159	16%	25%	24%	18%
81	ヒメイズイ	84	2	33	119	16%	21%	18%	15%
81	マツヨイセンノウ*	84	7		91	16%	16%	17%	
83	シコタンキンボウゲ	83			83	16%	11%	12%	12%
84	スカシタゴボウ	82	6	1	89	15%	15%	14%	18%
84	コメツブウマゴヤシ*	82	1		83	15%	11%	5%	3%
86	カラマツソウ	81	28	4	113	15%	20%	25%	22%
86	ササバギラン	81	2	9	92	15%	16%	13%	11%
86	エゾカラマツ	81	7		88	15%	11%	13%	11%
89	ヤブニンジン	77	2	55	134	14%	14%	16%	10%
89	ホウチャクソウ	77	2	48	127	14%	25%	22%	15%
91	ヤマブドウ 樹木	76	108	19	203	14%	13%	18%	13%
91	オランダミミナグサ*	76	1	1	78	14%	12%	7%	4%
93	ツリバナ 樹木	75	9	8	92	14%	20%	20%	15%
94	ギョウジャニンニク	73	17	18	108	14%	13%	13%	20%
95	オオバコ	71	26	6	103	13%	14%	15%	16%
95	ツクパネソウ	71	1	9	81	13%	17%	16%	17%
95	ベニバナイチヤクソウ	71	8		79	13%	16%	16%	15%
95	ウスベニツメクサ*	71	3		74	13%	8%	9%	7%
95	オニタビラコ	71	3		74	13%	11%	12%	8%
95	キシヨブ*	71	2		73	13%	12%	12%	12%
95	コナスビ	71		1	72	13%	10%	13%	11%

※青字\*は外来種、樹木は樹木、赤塗りは特定種を示しています。各年の%数値は開花が報告された地区の割合です。

## 間違えやすい植物の紹介

ここでは、前回上位に出てきた植物の中で、特に間違えやすい植物を取り上げて、簡単にイラストと写真で紹介します。ここに出てくる植物には特に注意して記録してください。ここに挙げた以外にも似た仲間はいますので、詳しい見分け方については図鑑類を活用してください。

植物名がよく分からないときは、無理に名前を付けずに「～の仲間」として記録してください。特に、一般名称が特定の種をさす植物もありますので、「仲間」と必ず付けるようにしてください。たとえば、スマレ・サクラソウ・ハコベ・スイバなどです。

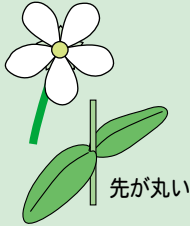
### ハコベの仲間

ハコベの仲間は6月に咲くものが多く、前回も多くの種類が上位で確認されている。花が小さく、よく似た種類が多いので、花の形や葉の幅、毛などに注意して確認する。



9位

オオヤマフスマ  
草地 5～15cm



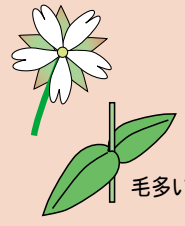
88位

オオバナノミミナグサ  
海岸 10～30cm



24位

ミミナグサ  
道ばた 3～10cm



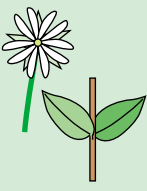
110位

オランダミミナグサ  
道ばた 10～25cm



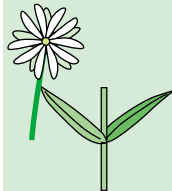
107位

ノミノフスマ  
林内・湿地  
3～10cm



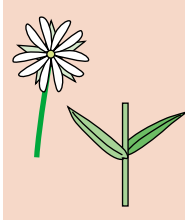
176位

ナガバツメクサ  
草地・湿地  
10～25cm



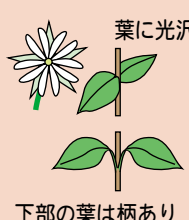
80位

カラフトホソバハコベ  
道ばた 10～25cm



28位

コハコベ (ハコベ)  
道ばた 3～10cm



344位

エゾノヤマハコベ  
(オオハコベ)  
林内・草地  
10～25cm



42位

ウシハコベ  
道ばた 10～25cm

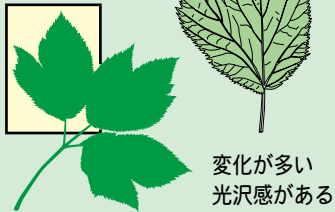


### セリの仲間

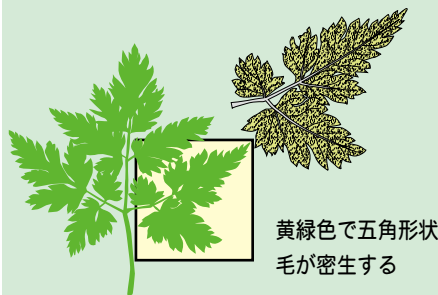
白い花を多数付けて目立つセリの仲間では、次の花が6月によく咲いている。葉の形に注目して見分け。夏になると、さらに多くの種類が咲き始めるので、季節の進みによっては種数が増える。

150位 アマニユウ

林内・斜面地  
80～150cm



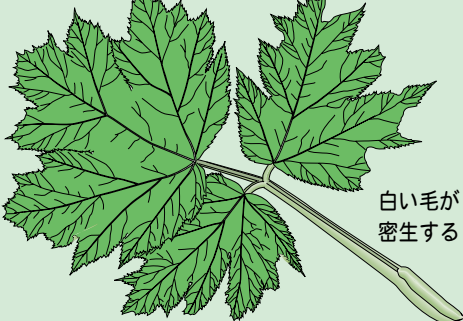
92位 ヤブニンジン 林内 30～80cm



17位 シヤク 林内 80～140cm

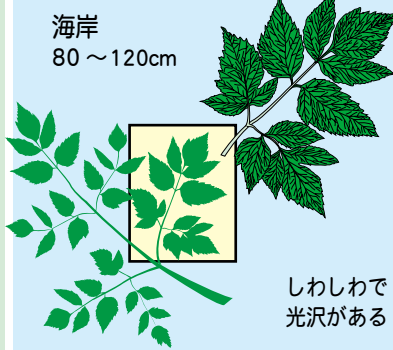


13位 オオハナウド 林内・草地  
100～180cm



133位 エゾノシシウド

海岸  
80～120cm



115位 オオカサモチ

海岸・草地・斜面地  
60～120cm



**筒状の花のユリの仲間**

筒状の花がぶら下がって咲く仲間。圧倒的にオオアマドコロが多いと思われる。ミヤマナルコユリ・ワニグチソウは、道北・道東にはまずない。道南には挙げた以外の種も見られる。



**11位**  
**オオアマドコロ**  
 林内・草地  
  
 柄は下に垂れる

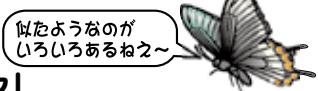
**203位**  
**ミヤマナルコユリ**  
 林内  
  
 柄が放物線を描く  
 茎も上部は地面と平行

**59位**  
**ヒメイズイ**  
 草地  
  
 花は1個ずつつく  
 小型で茎は直立する

**322位**  
**ワニグチソウ**  
 林内  
  
 苞がある

**43位**  
**ホウチャクソウ**  
 林内  
  
 花は茎の先につく  
 花びらが重なっている

**★ワンポイント・チェック**



**「クルマバソウ」** 林内で見られる3種のアカネの仲間の区別にご注意。オククルマムグラは広く見られる。

**16位**  
**クルマバソウ**  
 葉は6~10枚が付く  
 葉・茎にトゲなし  
 花はろうと形

**23位**  
**オククルマムグラ**  
 葉は6~7枚が付く  
 葉・茎にトゲあり  
 花は平たい

**197位**  
**クルマムグラ**  
 オククルマムグラとほぼ同じ外見で、茎にトゲがない

**「カラマツソウ」**

**64位**  
**カラマツソウ**  
 托葉が目立つ

**114位**  
**エソカラマツ**  
 托葉が小さい

**「アザミ」** よく見られるのはチシマアザミ。地域ごとに細かい変異が知られる。エゾノサワアザミは本来7月以降に開花する。

**67位**  
**チシマアザミ**  
 裂けない葉がある場合があり、変化が大きい。道南にはない？

**265位**  
**エゾノサワアザミ**  
 葉は深く裂ける  
 脈上に毛が多い

**「カタバミ」** 黄色いカタバミには2種類あることに注意。

**40位**  
**カタバミ**  
 茎が這う  
 道ばた・空き地など

**66位**  
**エゾタチカタバミ**  
 茎が立ち上がる  
 林縁など

**★お問い合わせ先**

☒電子メール [flower@hokkaido-np.co.jp](mailto:flower@hokkaido-np.co.jp)

ウェブアクセス!



- フラワースオン事務局 (さっぽろ自然調査館内) ☎電話 011 (892) 5306 ☎ファクス 011 (892) 5318  
 ☎〒 004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条7丁目 1-45 山岸ビル
- 公益財団法人北海道新聞野生生物基金 ☎電話 011 (210) 5773 ☎ファクス 011 (210) 5774  
 ☎〒 060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6

◆ホームページ <https://flowerthon.net> ◆ツイッター @flowerthon ◆フェイスブック <http://www.facebook.com/flowerthon>

# 特定種の分布図と見分け方のヒント



ツリハナバチは  
6ページで紹介してマス。

### ハマナス

バラ科 低木

生育環境/海浜

高さ/ 20~100cm 花/ 6月~8月

2017確認 39%  
2012確認 37%  
2007確認 40%  
2002確認 41%

同じ仲間には、道東の内陸部にあるカラフトイバラ、山岳部にあるオオタカネバラがある。ハマナスは葉に光沢があり、茎に毛が密生する。

■ 開花 34%  
■ つぼみ 3%  
■ 花後 1%

### スズラン

ユリ科 多年草

生育環境/草原

高さ/ 10~25cm 花/ 5月~6月

2017確認 26%  
2012確認 31%  
2007確認 29%  
2002確認 31%

※園芸種のドイツスズランは花が多い

■ 開花 19%  
■ つぼみ 0%  
■ 花後 6%

### コウリンタンポポ

キク科 多年草

生育環境/荒地

高さ/ 20~35cm 花/ 6月~7月

2017確認 65%  
2012確認 54%  
2007確認 55%  
2002確認 52%

同じ仲間には、キバナコウリンタンポポがある。花の色で簡単に見分けがつく。別種なので分けて報告する。

■ 開花 60%  
■ つぼみ 4%  
■ 花後 1%

2007確認 9%  
2002確認 5%  
1997確認 2%

### カタクリ

ユリ科 多年草

生育環境/森林

高さ/ 10~15cm 花/ 4月~5月

2017確認 23%  
2012確認 27%  
2007確認 30%  
2002確認 28%

※似た種はない。  
主に日本海側に分布。

■ 開花 1%  
■ つぼみ 0%  
■ 花後 22%

### オオバナノエンレイソウ

ユリ科 多年草

生育環境/森林

高さ/ 30~50cm 花/ 5月~6月

2017確認 55%  
2012確認 67%  
2007確認 71%  
2002確認 72%

エンレイソウの仲間は、雑種も含めて種類が多い。似ているミヤマエンレイソウは、花びらが小さく先がとがり、横向きに咲く。

■ 開花 8%  
■ つぼみ 0%  
■ 花後 47%

オオバナ~  
ミヤマ~  
シラオイ~  
雑種

### ホオノキ

モクレン科 高木

生育環境/森林

高さ/ 約 20m 花/ 6月

2017確認 60%  
2012確認 60%  
2007確認 67%  
2002確認 68%

※似た種はない。

■ 開花 44%  
■ つぼみ 4%  
■ 花後 7%

### マイヅルソウ

ユリ科 多年草

生育環境/林縁

高さ/ 5~15cm 花/ 5月~7月

2017確認 71%  
2012確認 78%  
2007確認 79%  
2002確認 80%

※山地に小型のヒメマイヅルソウがある。

■ 開花 47%  
■ つぼみ 1%  
■ 花後 19%

### クリンソウ

サクラソウ科 多年草

生育環境/林縁

高さ/ 20~40cm 花/ 5月~7月

2017確認 17%  
2012確認 17%  
2007確認 16%  
2002確認 14%

低地では、同じ仲間でおオサクラソウやサクラソウが見られる。クリンソウは川沿いに群生することが多く、花が何段にもなっている。

■ 開花 17%  
■ つぼみ 0%  
■ 花後 0%

### サイハイラン

ラン科 多年草

生育環境/森林

高さ/ 20~30cm 花/ 5月~6月

2017確認 30%  
2012確認 30%  
2007確認 32%  
2002確認 32%

※似た種はない。

■ 開花 26%  
■ つぼみ 2%  
■ 花後 1%

### ゼンテイカ

ユリ科 多年草

生育環境/草原

高さ/ 30~50cm 花/ 6月~8月

2012確認 47%  
2012確認 50%  
2007確認 53%  
2002確認 54%

※エゾカンゾウ・ニッコウキスゲなどの別名がある。

エゾキスゲは海岸草原にあり、色が薄く基部の筒が長い。夏に咲くヤブカンゾウは荒地などにあり、オレンジ色で八重咲き状になる。

■ 開花 43%  
■ つぼみ 3%  
■ 花後 1%